

天字子吾妻澁

四十七

自元禄十年八月  
至今 十一年六月

内閣文庫	
番號	和 35015
冊數	74 (46)
函號	150 53

内閣文庫	
一五〇函	三九〇一九
一三架	七四冊
冊	號
架	類

共七十四



天  
享  
吾  
妻  
鑑  
卷  
之  
二  
百  
三  
十  
一

天享吾妻鑑卷之二百三十一

元禄十  
八月  
廿五日  
大目録

丁  
丑  
年  
護持院於新堂法會御聽聞

大僧正

圓福寺

御  
東北

春日  
菟神  
黒田豊前守

阿漕  
中根大隅守



田村 大隅守



御是界

江口 黒田豊前守

御舟并慶

葵上 御近習 吉右衛門  
加茂日 原右衛門

御自然居士

蛸 黒田豊前守

御和布刈

羽衣 中根大隅守

御野之宮

一同廿七日 水野美作守於在所重病下云云

一同廿八日月次之御礼相陪

一御役替被 仰付革

大御番頭 一 稲葉駿河守

御書院 番頭 一 阿部遠江守

新庄土佐守

板倉至親

御小姓組 番頭 一 北条對馬守

牧野半三郎

一 参府之御礼 御礼 龜井隱岐守

龜井隱岐守

一 大坂加番 御目見 之 坂田金吾守

坂田金吾守

本多親貞

一在春飯御目見

奉多彈正少弼

三技能登守

兩組頭守中

一同廿九日藤掛采女父監物昨夜病死

一同晦日继目ノ御禮

御太刀金二枚 太次次郎

御臺所江

縮面五卷

同人

一右京大夫遺物下ノ衣指上

御刀

青江直次  
代金十枚

三之御丸江

伊勢物語

飛鳥井正親筆代百貫

右者去世八日相濟

一水野美作宗就病氣津山城受取御免酒

并親負佐ノ被仰付

一水野美作守病氣大切ニ付御医師願ニ

付摘陰庵ニ被仰付祭足ノ処養生不

叶去世三日死去ス

一水野美作守於在所毒腹ノ切子在之卜

一 九月 御礼相濟

一新御番頭 被仰付

一 駿府在番御暇賜之

一 御所加番 御暇

一 柳兵部少輔

青木右衛門 内藤圖書

一来心 十一日 柳沢出羽守 亭江三之御九

一 前田安藝守 幸中 凡本 天 軒 病 田 川

一 阿部豊後守 血忌御免 登 城 不 平

一 水戸宰相殿 男子出生 御付

一 日光祭禮奉行 被仰付

一 渡辺主殿 酒井隼人

一日新 御名代

富山氏部太補

代

大友透江守

一日三日小出伊勢守母昨夜死去

一谷之御倉火ノ御番立花飛彈守代松平

源次郎被仰付

一後草室杉二戸田采女本多彈正閑伊織

屋敷有之三家ヨリ寄合辻番人ノ場所

近夕先月廿八日夜二町屋微火ノ者已

力兄ヲ切殺サレ十三ヶ所ノ手疵有之

詮義ノ上ニテ右ノ者ノ家七籠舎右ノ

一過番所モ御穿鑿ノ内一昨朔日六夜迄

番人不残欠落不依之早速ニ番所ノハ

采女正足輕入置御目付中迄御届方有

之ノ処番人共一人ナリ且尋当ニ次郎

可申上旨申渡有之ト云

一同四日酒井河内守女柳沢兵部へ縁組

一内證相濟

一土井左門右ノ教馬下改

一本火消被仰付立花飛彈守

一右者増山兵部必輔代

一月五日日光へ御暇二付了賜之

一月五日日光へ御暇二付了賜之  
金山五枚時服二 富山民部太補

一月五日日光へ御暇二付了賜之  
金山五枚時服二 富山民部太補  
渡辺主殿

一月六日阿部豊後守出生ノ息牧野鉄十

一月七日阿部豊後守出生ノ息牧野鉄十

一月七日阿部豊後守出生ノ息牧野鉄十  
一酒井内匠頭毒急病ニ了死去ス

一月七日米津出羽守持病為養生平井ノ

一月七日米津出羽守持病為養生平井ノ  
温泉へ湯沼願ノ処ニ今日御暇賜之 来

一月十日過祭足上云々  
一月十四日三日之御九護持院へ御成ノ

後被仰出

一月十日八重姫君御入典宗侍諸大名ヨ

リ献上之品々

麩風五双 松子陸奥守

吳服笠二 稻葉丹後守

毛氈百枚 柳原式部太補

色紗綾十卷 織田越前守

銀燭燭十 松子出羽守

嵩立 松平誇路守

吳服笠二 松平土佐守

吳服箱三

伊達遠江守

綿百把

黒田甲斐守

臺子二節

藤堂和泉守

紗綾十卷

松平備後守

衝立

南郡信濃守

車笠五組

松平大膳大夫

段子二十卷

松平大和守

同拾卷

松平若狹守

尾風二双

立花飛騨守

銀鉏子

松平下總守

吳服箱二

阿部對馬守

同新

松平對馬守

一月十二日 將軍家三ノ御九柳沢出羽守

亭へ御成ニ付勝手へ可相詰申書ニ

被仰付

藤堂和泉守

稻葉丹後守

三之御九ヨリ被下物

銀三百枚御樽者

出羽守へ

時服二十

金五枚時服

出羽守へ



金五枚時服

兵部

金五枚御小袖

兵部莫母

銀三枚人預色

伊織

手慰物

左門

銀三枚御小袖

伊織莫母

銀十枚花

家老四人

銀五枚

用人

銀五十枚

奥方中

一月十三日

三ノ御九昨十二日

柳澤

出羽守亭へ被為入

方ヨリ奉庄目播守一遣

太刀一腰

末因光

馬代金拾兩

二種一荷

目日播守へ出羽守書ヨリ

紬綾二十卷

干鯛一匹

縮面十卷

干鯛一箱

右ハ出羽守兵衛又ニ今日目播守

宿所へ遣処如右

一前田安藝守喜今朝病死

一月十五日月次ノ御礼畢

一参勤之御礼

銀馬代時服三 森對馬守

日新 関大藏

一嫡子成人御礼

同新 森 帶刀

一出羽上山へ所替ニ戸城築キ可申申被

御付

松子中務又補

一御役替被

布施孫兵衛

六郎主馬

大次保権左衛門

鈴木源五左衛門

花房勘右衛門

堀田源右衛門

河野太急左衛門

水野美作守息松之助兼春江府江下着

御徒頭

奉迎奉行ヨリ

小十人頭

河内守ニ男

御納戸頭

中奥ヨリ

御納戸組ヨリ

一 致升不<sub>レ</sub>一<sub>レ</sub>千音酒井河内守<sub>二</sub>被<sub>一</sub>仰付  
一作右江御暇<sub>二</sub>付賜<sub>一</sub>

田村右京大夫

松平若狭守

赤井平右衛門

仁賀保孫九郎

一 初<sub>レ</sub>御目見

弥之久息

水谷頼母

一 松平讚政守月次<sub>ノ</sub>当仕之外為伺御機

碰登 城候様<sub>二</sub>被<sub>一</sub>仰付

二 月十六日作及祭足

行村惣左衛門

御代官 岡田五右衛門

一 同十九日作及祭足

赤井平右衛門

松平若狭守

赤井平右衛門

仁賀保孫九郎

一 田安御門番目

一 同右者米津守羽守代

一同廿一日 仙石越前守祖母正光院病死  
一日光政 御目見

畠山民部大輔  
渡辺主殿

一南都根柅寺御祈禱人帳江戸町中人別  
奉加被 御付旨寺社奉行江被 御付

一同廿二日 作忍 祭足

田村右京大夫  
水谷弥之次

一松平讚政守江吳朧橋之内森美作守上

リ屋敷被下之芝 屋敷被 正上申被

御渡

一月廿三日 奉所奉行被

花房惣左衛門

長田甚左衛門

細井院次左衛門

一松平安藝守作良江遣久人教久覚

壹万石

淺野伊織

三千石

仲権太夫

千五百石

持筒 子前頼母大

千石

士大将

寺西権大夫

千石

大番頭

浅野左門

三百石

持筒頭

稻垣傳六郎

八百石

騎馬

吉岡又大夫

六百石

物頭

大久保新五郎

千石

日

天野季左衛門

七百石

日

小堀新五郎

四百石

日

蒲判勘次

三百五十石

日

杉浦金九郎

三百石

日

金永仁右衛門

三百石

徒頭

小池平左衛門

三百石

大目付

竹本田右衛門

二百五十石

西尾武左衛門

五百石

山岡作左衛門

四百石

勘定頭

竹腰治左衛門

五百石

普請奉行

今北権五郎

二百石

長小玄次

二百石

吉益半朴

馬廻り之者

七百石

一人

六百石

二人

五百石

三人

三百石

二人

二百石

一人

百五十石

十人

惣以六拾二人

五百石

旗奉行 志島新五郎

二百五十石

鎗奉行 峯七兵衛

知行萬三石七千五十石

一月廿四日 増上寺御名代牛屋相換守相

勤心

一松亭甚三郎重病治江坊軒菜治入

一龜山城当月十三日 孫渡山井上大和守

一相渡野久 頼母町野酒之元 歸府

一牧野半三郎 組頭大久保新八郎 奉灸伯

替守宅八召呼御役不相應二付被召放

下云云

一曰廿五日小笠原兵助急病差詰死去云

一曰廿六日御役替有之輩

一曰小笠原請奉行

一曰小十人組

御納戸組 銚木清右衛門

一曰大坂町奉行

一曰廿八日月次之御札相濟

一曰改日御目存殿 御目見

堀内藏之友

堀内喜左衛門

一曰御目見

内藏之友

堀内民部

一曰紅葉山火之番被

御存

酒井隼人

一曰十月

一曰朔日月次之御札相濟

一曰参府之御札

一曰

一曰

一同二日増上寺御成之葺拜願物ノ品々

白銀二百枚

一尾風一双増上寺方丈江

昆布一筥

踏緬五卷宛

傳通院

土元院

一日三卷宛前所

光明寺

常福寺

弘経寺

六松應寺

一日三卷宛紅衣檀林葺

天徳宗文

誓願寺

銀三十枚

所化月行呻拾二人江

後者吟達

見駱

一同三日甲府殿江

御成之新殿見分被

仰付葺白

御小納戸

米倉丹後宗

松前作右衛門

木原兵三郎



御目付

水野権十郎

山口孫次郎

御徒目付

依田十良兵衛

田辺九兵衛

御心人目付三人

一日四日御詰二被

御付

松平中務少輔一人

土井周防守

一水野中務少輔少任以後表方ヨリ可相

務由被<sub>二</sub>仰出

一松平讃岐守芝ノ屋敷ノ内長屋者<sub>三</sub>五

一付三平坪被<sub>二</sub>下

一新規二被<sub>三</sub>召出御近習番被<sub>二</sub>仰付

土佐守合勇

荒川兵左衛門

兵三良三男

木魚頼母

一洞之間番二被

御付

御風呂屋番ヨリ

行内弥市

御風呂屋番ヨリ

服部善右衛門

御目付

内田源次

御目付

黒見八郎右衛門

御風呂屋番ヨリ 柳原藤左衛門

日 中津一左衛門

日 前田六左衛門

御徒ヨリ 小泉兵庫頭ヨリ 西少三左衛門

日 小林市良兵衛

日 山岡十兵衛頭ヨリ 森村源右衛門

日 水野小左衛門頭ヨリ 小寺彦四郎

日 逸見左衛門頭ヨリ 田本惣太夫

右者三拾張宛御加増ニテ都合百張

一 御成

一 御成

一同五日来十二日小石川御殿江一御成

御成汰有之

一 藤堂和泉守曰圖書今日被為百藤堂佐

渡守実子庄女十五歳ニテ八佐渡守所

領五万石下唯今迄所持ニ来ニ三年石

下合テ圖書領知スニテ庄女十五歳ニ

一至テ五万石ニテ可相渡下被 仰付

一 米津守羽守湯沼相應メ政府ス

一 内藤能登守出生人息藤丸下号ス



水沙花百三十本

花之色々

御樽御肴

一松系讚岐守芝上ノ屋敷ノ内松系右京

大夫工被下右京大夫池ノ端ノ屋布差

上

一土政彦四郎母死去伊東駿河守祖母

一月十日森川紀伊守當夏出生ノ子死去

一屋布替被仰付

一駿河臺

星合七兵衛屋布永井刑部

一菅谷

一屋布

一水野越前守屋布菅谷

一末世二日茶庄目播守ノ可被為成旨

一被仰出

一末世七日松系右京大夫江可被為成

一旨被仰出

一月十一日末月 奉院御所御一周忌

上使卜可被遣旨御内意有之

一曰代... 織田能登守

一曰十二月日太田撰津守嫡子席之允病氣

一不子今朝死

一因十三日酒井内道以二本道具為持候

一様之被... 渡

一昨日地震之日日光江為上使近藤子

一八弟被... 昨夜中發足

一青山密捨犬御談議之上御追放

近及登之組... 勝矢五九衛門

日... 小野安右衛門

伊東少将守... 小島久兵衛

一曰十四日去... 十二月一日地震三付諸方

一曰注進就中鎌倉殿敷地震堂社破損

一之旨注進有之... 付為見方御徒目付山

懸平左衛門石黒久右衛門兩人被... 仰

付今夜亥之刻計御... 城ヨリ直ニ出足又



村山源太夫

守藤源五左衛門

右者進物取次番ヨリ

一表火之番

堀田河内守組ヨリ梅崎三九衛門

一内閣部舟波守組ヨリ植木藤次

一白下五右衛門高橋源七

御音請吟味限ヨリ今井小兵衛

奥津兵左衛門組ヨリ向坂治了左衛門

三奥火之番

表火之番ヨリ

若林孝三郎

山岡市左衛門

林勤左衛門

磯貝権右衛門

浅井瀬兵衛

赤井十左衛門

一参勤之御礼

毛也之拾枚

御太刀馬代

晒十疋

石川美作守

御太刀馬代 織田内匠頭

一駿府在番殿 御目見

蠟燭二箱 松子近江守

御太刀馬代 松子忠左衛門

箱香 松子忠左衛門

一同所加番殿 御目見

蠟燭三箱 松子織部

御太刀馬代 松子織部

押掛拾掛 石川監物

同 久永内記

一段取殿 御目見

手綱二十筋 隴河丹後守

御太刀馬代 隴河丹後守

一純目之御札

時服十套二十枚 藤堂図書

御臺所江

銀二十枚 目人

一為遺物献上

御刀 備前是也 代金五百貫



藤堂佐渡守

一 御臺所江

八 景卷物

探出洞雲雨筆

同人

三 之 御九江

繪賛卷物五行圖

探出筆  
賛公家衆寄合世

一 湯沼殿 御札

同人

箱肴

米津出羽守

一 同十六日 垣日 御食義有之 雜司夕谷

一 女并女子殺者相知夕几様子

本庄石原町伊奈半十郎支配所町人家

持傘屋吉兵衛卜云者有之 右ノ吉兵衛

店ニ輕キ賣人ニ源兵衛卜云者有之 此

当五月源兵衛病死ス其壽花ニ六歳ノ

女子當歳女子卜母子三人有之 諸親類

曾テ無之ニ付 右ノ赴ヲ半十良方へ相

達スルノ処不便ナル後ニ候間當分吉

兵衛ニ力ヲマヒ置候様ニ被申付ニ力

レヒ永クノ更吉兵衛ヌイワクニ及ヒ

一 當歳ノ子ヲハ門へ打込孩ニ三人ヲハ

レヌ殺スノ由吉兵衛白状ス依之曰類

御食義有之未相濟サレ由下云云  
一月十七日八時傳通院領大塚上ノ町ヨ  
リ出火次第不日

火ノ元

法善寺  
善心寺

右者傳通院領ノ内借地ニテ有之  
一月八日南側町屋拾三軒焼失

浄土宗  
西心寺

下屋布  
福田八左衛門

不動院

同下町細井九左衛門御代官所下傳通

院領入組有之

禪宗  
光臨寺

家敷兩側ニテ四十二三軒焼失

久保町

家敷十三軒焼失

下屋布長屋百間程

安藤對馬守

夫ヨリ若荷谷工焼出

本灵甚太亭

評崎治左衛門

玉屋兵部

井羽六左衛門

大岡美濃守

久松角左衛門

平井清左衛門

菅城三左衛門

渡辺孫次

大草弥五郎

松子五番

浄土宗 正清寺

内藤助之進

堀田河内守

大森半七郎

神谷源三良

浄土宗 大田寺

真言宗 化嚴寺

同所屋一町半程焼火家敷十四五軒

本多半三郎

松平十良右衛門

鈴木喜兵衛

鈴木清左衛門

松田十良左衛門

河部傳八郎

菅城平左衛門

小日向馬場先七軒

太田長十郎

岩作善兵衛

山本小兵衛

青木久太夫

久保寺四良左衛門

石川兵左衛門

戸張八兵衛

北条平八郎

赤井源太夫  
 大村惣左衛門  
 後岡守右衛門  
 小笠原孫太寺  
 板橋三太夫  
 松下三太夫  
 土政新五良  
 堀主祝  
 野村兵太夫  
 近藤久次郎  
 月夜水道町了光寺  
 水道橋町屋  
 燒失  
 大河内又兵衛  
 馬場藤十良  
 田邊惣十郎  
 松子伊織  
 加藤運心  
 神田與五右衛門

朝比奈沼右衛門

小日向向臺

内五十五名

横瀬左門内 遠山七之次

清登寺内 福正寺

前田孫十良内 馬場権六郎

松子八左衛門内 竜登寺

花井靖左衛門内 服部與左衛門

酒井圭左衛門内 酒井七郎左衛門

酒井伊與守業師別當 安養院

行願寺借地

目次西側町屋細井九左衛門支配

松子彦十郎

曾根長五郎

半込

曲浦子左衛門組與力三人

小谷川惣左衛門赤井喜四郎

松子十太夫須田五子次

有施惣十郎

真言宗仙藏院

中村子左衛門

若宮八幡

荒戸明神

渡邊藤左衛門

近山五郎右衛門

山下佐五右衛門

曾根太左衛門

菴慶橋町端

齋屋小兵衛

新小川町

松子彦十郎

曾根長五郎

半込

曲浦子左衛門組與力三人

小谷川惣左衛門赤井喜四郎

松子十太夫須田五子次

有施惣十郎

真言宗仙藏院

中村子左衛門

若宮八幡

荒戸明神

渡邊藤左衛門

近山五郎右衛門

山下佐五右衛門

曾根太左衛門

菴慶橋町端

齋屋小兵衛

新小川町

松子彦十郎

曾根長五郎

半込

曲浦子左衛門組與力三人

小谷川惣左衛門赤井喜四郎

松子十太夫須田五子次

有施惣十郎

真言宗仙藏院

中村子左衛門

若宮八幡

荒戸明神

渡邊藤左衛門

近山五郎右衛門

山下佐五右衛門

曾根太左衛門

菴慶橋町端

齋屋小兵衛

新小川町

林 甚々 佐野彦太夫

野 是市郎右衛門 采倉八良右衛門

秋 山三良左衛門 内藤七八郎

小 作手龜之次 原田藤太夫

日 政右衛門 中村平右衛門

天 召 万亀寺 丸山藤左衛門

回 宮 左衛門 荒尾平三郎

門 奈半左衛門 神保兵左衛門

永 井 弥十良 朝倉源右衛門

梶 川庄兵衛 藤井善右衛門

日 亥 六 二 夕 十 邊

本 多 茂 十 郎 親 見 忠 左 衛 門

嵩 原 八 左 衛 門 朝 場 六 左 衛 門

山 岡 助 左 衛 門 都 筑 茂 左 衛 門

山 角 次 左 衛 門 鈴 木 五 之 次

高 山 氏 部 太 補 柳 沢 八 郎 右 衛 門

杉 田 源 六 郎 余 語 大 六 次

落 合 三 良 右 衛 門 山 本 庄 九 郎

夏 目 藤 右 衛 門 岸 源 太 夫

加 茂 宮 太 良 左 衛 門 佐 々 弥 十 郎

山中新平 石場四良兵衛

大野新七 大橋左兵衛

久永友右衛門 伊奈傳兵衛

宮城四郎兵衛 久保田六左衛門

安間善右衛門 大家半右衛門

佐々善兵衛 廣平勘十郎

能勢新五良 澤太兵衛

澤仁兵衛 平野久之進

揖實勤左衛門 永田傳九郎

戸田貞右衛門 萩原瀨兵衛

戸田新右衛門 柳原善右衛門

神谷小作 北条庄左衛門

京極麻宮 本多修理

三輪平十郎

牛込御門外

國領半兵衛 座光寺佐左衛門

山同十兵衛組御徒二人

日所諸星内藏人屋布少次 残所相見

光熈方 朝倉所右衛門

蜂屋五郎 三島清左衛門

佐夏権左衛門

秋山十良左衛門

伴孫兵衛

岡金兵衛

駒井新五右衛門

横山弥十良

芦谷十五

細井六良兵衛

成瀬友九郎

岡権十郎

村越権十郎

神尾理兵衛

富永彦兵衛

後岡藏部

大久保六郎左衛門

町野次郎左衛門

長山藤右衛門

星野小左衛門

吉田八左衛門

島田四良左衛門

中沢宗左衛門

島居小左衛門

長島半十郎

間野六良左衛門

井口理兵衛

西川太左衛門

小西彦五郎

服了五良右衛門

野邊五良右衛門

山中長左衛門

北多万太夫

小栗齋休

鈴木市良右衛門

石川源兵衛

佐野又兵衛

大澤八郎右衛門

野間金右衛門

大野何右衛門

日勤左衛門

尾崎勤八



水野藤四郎

小笠原卿左衛門

山本小平次

青柳内記

太田修理

加藤権右衛門

神保宗右衛門

木郎権左衛門

天徳寺

禪宗万教院

清亀院

遠山権八

岡田玉殿

小野又右衛門

神尾七良左衛門

真野庄左衛門

水野又左衛門

大堰源藏

片岡兵左衛門

天野甚五左衛門

神田奎之丞

中根孫三郎

横山己之丞

大久保喜八

土手四番町

鶴殿藤兵衛

米津中兵衛

松平新藏

寛三太郎

菅沼新三郎

前田頼母

馬場十良右衛門

裏四番町

安田又右衛門

権田織部

岡田平左衛門

梶河庄左衛門

飯田仁左衛門 服部又右衛門

駒木根長三郎 菅沼友十良

三浦庄太夫 日茂兵衛

余諾金三郎 山田伊右衛門

國領八良右衛門 水野八良左衛門

牛込御門之内

石原次左衛門 平川瀨兵衛

川印善七 難波田八良右衛門

酒依権左衛門 孫尾治左衛門

筒井三郎左衛門 布施源兵衛

蜂屋十良兵衛 宮城七良右衛門

植村熊之介 杉田弥五兵衛

埴内友九郎 黒田源右衛門

美濃部一学 向坂主水

島藤兵衛 中根権左衛門

五味金左衛門

表四番町 山角又右衛門 田中市良右衛門

小笠原傳四郎 小幡太郎左衛門

高木權右衛門 内藤吉三郎

服部久右衛門

小菅次郎八

赤川八左衛門

戸田忠右衛門

阿部滋兵衛

三番町

小野源右衛門

神谷與十良

矢部茂九郎

久貝惣左衛門

戸田三右衛門

廣戸助右衛門

小菅伊右衛門

小宮山侍三郎

島久太郎

山岡七右衛門

阿部伊織

早川八左衛門

松原仙次郎

三宅弥次兵衛

久志本内藏人

近夏備中守

田村次大夫

榊斐長吉

神川源兵衛

大橋新五左衛門

阿部遠江守

大久保荒之次

戸田内藏人後屋守

能勢昭左衛門

小笠原遠江守

戸田弾正

稻生下野守

木原兵三郎

一同十八日昨十七日大火ノ処何故情出  
候ニ付御城別条毎之御気色候ノ旨阿

部豊後守申渡有之

松平讚政守

酒井河内守

本多能登守

松子遠江守

亀井隠政守

太田振律守

九鬼内記

内藤紀伊守

松子大和守

南部信濃守

伊達美作守

土井甲斐守

版倉甲斐守

中川因幡守

藤堂和泉守

浅野土佐守

内藤丹後守



一月十九日御段義被仰付

本庄奉行新井鳥居久五郎

右者松子侍兵落跡  
小普請定小屋但吟味段

小野作兵衛

一月廿日伊奈半十郎善八先年福葉市  
左邊門江掣養子二遣之処二其已後市  
左邊門方兩人追男子也生二侍先頃半  
十郎死去已前右ノ善八ノ養子願有之  
処二當春半十郎方二ノ毒腹二男子出  
生之可レレ病軀其上幼少二侍ノ支配  
ノ所之御勤定等無覺束存跡以善八養

子之後申上善八此等御小跡戸相務々

一月廿一日田村在京大夫去山十一日津

山之城請取平上使日十四日在番ノ到

渡十六日彼地祭是卜云云

一小室原遠江守戸田彈正少弼代官町屋

敷御用地二被召上於下谷替地祇下

一月廿二日半藏御門脇土井至水後屋布

御用地二被召上

一水野美作守貳式無相違息松之免二被

仰付番今日酒井河内守水野長門守兩

人被為召被侍

一月廿三日小右河御殿火ノ番被侍

松子播平守

一月廿四日小播三良左衛門奥田八良左

火之番代被侍

一月廿五日小播三良左衛門奥田八良左

山王御本丸

右者播平守羽守代

御本丸奥向

大手御普請御手傳被侍

松子守羽守

一月廿六日小播三良左衛門奥田八良左

御本

一月廿七日小播三良左衛門奥田八良左

之御本丸

一月廿八日小播三良左衛門奥田八良左

屋布到花御普請奉行被侍

一月廿九日小播三良左衛門奥田八良左

遣御暇被下

金十五枚

時服三羽折

織田能登守

右者廿六日祭足

一御役屋布類焼二付作事領金子千兩可

一被下音被仰止輩

戸内藏人

本多修理

能勢沼左衛門

一曰廿五日本庄目播守亭一被為成其

一御勝手一相詰二付被下物品

紗綾十卷

小笠原遠江守

一日五卷

織部

一色羽二重拾卷

牧野周防守

三之御九日

牧野周防守

綿二十把

紗綾三卷

御能番組

御白髷

小笠原遠江守

御江口

稻葉丹後守

雪電

本庄兵庫

豊五良

河弓八幡

祝言

牧野周防守

一 同廿六日大手御門番被

仰付

本多能登守代

柳原式部太補

上野火ノ番

柳原式部代

立花飛彈守

本庄火ノ番

中川目指守

一去廿二日浅草品川ニ於テ誅伐者有

松平備前身家從野口常右衛門小者侍

銃ノ催促キトシテラレ古ノ意趣ヲ

存候主人家へ報火致メル罪ニヨリテ

火罪

一 青山五保町喜三急子馬三正捨夕ル科

二 日ノ江戸中引廻ニ於品川死罪獄門

一 師匠殺候科ニ依テ於浅草磔是ハ牢死

ノ者

一 長子喜八若黨作山勤兵衛年二十此者

主人ヲ切殺ニ科ニ依テ御食談ノ上罷

シ

一 屋布給圖差上候様ニ被成仰付去已四

月限ニ差シス輩

カキカウ町

土井周防守



力キ力ヲ所

青山措广守

大塚

安藤對馬守

四谷

内辰丹後守

麻布

高木主水正

牛込

堀田豊前守

同

酒井執負佐

一増火消被

即付奉書持参ノ御徒一其

一死之ヨリ一禱三百足或ハ銀二枚或ハ

五百足遣ス

一同日廿八日月次之御禮相請

一初テ御目見有之輩

御太刀馬代

丹後守嫡

内藤主殿

時服三

御太刀馬代

主膳正嫡

片桐隼人正

時服二

同

土駒玄蕃

一雀岡八幡宮御修漫之末ニ休御礼

一束一本

安楽院

扇子

小別當

一廿廿九日内藤丹後守四谷下屋布六万

一坪奈御用地ニ被召上

一森内記江御預了ノ森立殿昨廿八日到

着下云云

一曰晦日三五九火ノ番被仰付

黒田甲斐守

終

一天享吾壽鑑卷之二百三十三

一萬曆无祿十丁丑年

一朔日無別支

一明二日甲府殿江御成御殿為見分柳澤

一守羽守参入

一策亭右大臣去月廿五日薨去是ハ水戸

一宰相殿御薦中人御父君也

一宗對馬守嫡女毛利周防守縁組内證相

一清三依了願ノ義申上

一

一日二月 芝明神別当 金剛院 不届ノ義有  
 一 芝江户十里御道放被 仰付  
 一 安藤對馬守大塚ノ下屋布六万五千坪  
 一 ノ内一万四千坪御用地被召上  
 一 内田冬羽守永田馬場屋布被召上  
 一 山口 隆理 亮 滋谷ノ下屋布一万坪被召上  
 一 高木 主水 正 滋谷ノ下屋布壹万坪被召上  
 一 堀田 豊前守 茂 草ノ屋布ノ内七千二百  
 坪被召上 替地於本所拜領ス  
 一 中根 大隅守 胤 元ノ屋布御用地被召上

ヤヨソノカニ 杉子市ニ屋布ノ拜領ス  
 一 杉子 主計 江日比谷御門ノ内北条左京  
 屋敷被下  
 一 井上 筑後守 北条左京亮ノ上野池ノ端  
 一 二ノ屋布被下  
 一 内藤 式部ノ下谷廣小路ニ屋布被下  
 一 伊澤 吉兵衛ノ裏四番町鶴殿藤次屋布  
 被下  
 一 伊丹 左兵衛 牛込屋布被召上  
 一同 三日 来六日 小石川御殿江 御成ノ

一 沙汰有之

一 伊達遠江守男子出生母子平安

一 日四日 奥子熊太良為名代松子宮内少

一 補被為石番町御堀廻ノ焼跡拂除御子

一 傳被 仰存

一 内藤丹後守屋敷三千坪於本所拜領

一 甲府殿御成御殿見方ノ夕ノ参向之輩

一 阿部豊後守

一 戶田山城守

一 加茂越中守

一 束十二日 甲府殿御成御殿見方ノ夕ノ参向之輩

一 御成

一 同五日 傍取坑ノ内明地ニ成候取

一 敷石木石垣取候不若其内

一 候ノ悪布候ハ可被承合并戸埋不申取

一 掃除等共通ニ蒙引取申受

一 手次第ノ由云

一 日七日 行田法印ニ面儀入御加増被下

一 御成

一 枓予右京大夫上ノ屋布枓予市正ニ被下  
 一去ニ十七日類焼ノ面々御旗奉允三百  
 一 六拾三軒ノ外組付大分有之  
 一 夜前火事石町三町目岩付町ノ裏屋家  
 数七軒ニ及ノ火奉越後屋治兵衛卜云  
 一 店別条毎之  
 一 月八日大御番頭御書院番頭御小姓組  
 番頭被為召之組中夜廻リノ増人出  
 可申旨被 仰渡  
 一 此度居屋布御用地ニ被召上ノ面々百

拾八人引料被下  
 一 六千石ヨリ三千石迄 銀百枚宛  
 一 三千石ヨリ千石迄 金五拾兩宛  
 一 千石ノ内三百石迄 金三拾兩宛  
 一 三百石ノ内五十石迄 金二十兩宛  
 一 今度被 仰付御城御堀ノ御普請始昨  
 七日ヨリ御普請相濟申迄ハ竹橋半藏  
 御門田号御門清水御門之通路大小石  
 二ヨラス一切ニ是ヲ差留マヘニ但鼠  
 此ニ屋布有之者ハ新聞届通スヘニ四

一 乃 入 御 門 番 谷 申 合 其 旨 可 相 心 得 云  
一 同 九 日 甲 府 殿 工 是 御 成 之 第 御 供 被

仰 付 輩

藤 堂 和 泉 守

酒 井 河 内 守

松 平 讚 岐 守

松 平 伊 豆 守

小 笠 原 遠 江 守

松 平 主 殿 守

松 平 遠 江 守

一 年 五 月 本 末 新 改 示 井 上 大 和 守 附 封 人

一 月 邊 邊 邊 久 世 出 雲 守

一 春 梅 邊 邊 邊 戶 田 能 登 守

一 其 邊 邊 邊 永 井 伊 賀 守

一 松 平 志 戶 守

一 內 藤 紀 伊 守

一 同 十 日 松 平 大 和 守 被 為 百 谷 之 御 藏 火

一 之 番 被 仰 付

一 大 手 御 門 番 柳 原 式 部 太 輔 代 守 被 仰 付

一 松 平 下 總 守



一田安御門番内藤式部少輔代

一其子世傳藤原氏山口修理亮

一永田馬場内田出羽守了少屋敷了分地

賜之 龍川長次亭

伊澤吉兵衛

一甲府殿江 御成以後供奉方ヨリ進

上之御祝箋ハ御受納有之其外ヨリノ

喜物ハ御受納無之

一伊達金之次月次ノ登 城願ノ所来 北

十五日ヨリ御礼可出ノ旨被 仰付

一猪子左太夫黒川子兵衛有馬宮内三人

ノ奥力ハ一毛引科二拾兩ノ被下

一殿坂淡路守領外播忍竜野領田作出刺

高五千六十石余損三

一來ハ十四日柳沢出羽守亭ハ御成有之

御沙汰

一酒井弼負佐濱町屋布ノ内御用地ニ被

百上替地本所ニテ被下

一本多隱岐守在所ハ御暇被下登リノ時

分伊勢参宮願ノ通被 仰出

一同十二日已之刻甲府殿江御成申ノ

刻還御為御礼甲府殿即刻登城者

中廻之云云

一甲府殿御舎牙氏部殿初ノ御日見有

之

一將軍家ヨリ甲府殿へ被進物

御太刀 末國俊代三百五十貫

黄金五百枚

時服百

一御馬一匹百鴨毛

御腰物刀

觀世正宗代金  
三百五十枚

御腰物腰差

光包代子五百貫

御簾中一

石銀三百枚

羽二重二百匹

二種一荷

銀二十枚時服四疋

津田長門守

津田越前守





松野

アスル

ミサキ

高野

山路

一三之御九ヨリ甲府殿江

綿二百把二種一荷

右御同取ヨリ甲府殿ノ御簾中江

紬綾五十卷二種一荷

一御臺取ヨリ甲府殿江

綿二百把二種一荷

一御同取ヨリ御簾中へ

一雀姫君ヨリ甲府殿江

綿百把二種一荷

一御同取ヨリ御簾中へ

紬綾三十卷二種一荷

一八重姫君ヨリ甲府殿へ

一御同取ヨリ御簾中へ

一 紬綾三十卷二種一荷

一 甲府殿ヨリ献上物

一 真御太刀 栗田口周吉  
代十五枚

一 銀三千枚 御盃之時

一 紬綾三百卷

一 御太刀 江代二百枚

一 御脇差

一 御馬鞆置

一 御内證ヨリ

一 御掛物 林猫宮收漢革

御臺

一 唐紙藏二卷 御香二種

一 同御簾中ヨリ

一 綿三百把 御盃臺

一 三種二荷

一 御内々ヨリ献上物

一 御小柄 三五物三十通  
二所物二十通

一 御扇風一雙

一 御幅紬御重一組

一 御香具筥一組

御者 一種

一金馬代御時服四苑

御家老三人

一銀馬代時服三苑

寄合八人

一同新同二苑

御用人六人

御能組

三番三長太夫

觀世太夫  
高砂

植右衛門

辛三良  
新九良

惣右衛門  
又六

室生太夫

羽衣

源七

市部兵衛  
彦右衛門

三市九郎門  
彦兵衛

七太夫

祝言

新之元

治三郎  
小左衛門

六之介  
源四郎

吳服

福神

仁右衛門

御囃子

高砂

加茂

中納言殿

御山姥

御小鍛治

祝言

中納言殿

一月十三日 森川下總守妹安部撰津守次

男小十良 仁譽礼相調内藤丹後守強也

一酒井河内守息女柳沢兵部一縁組被  
仰付

一後野内匠頭赤坂下屋布子坪系残ニ其  
外御用地ニ被召上替地本庄ニ了被下

一酒井式部養父権兵衛去心十一日死去

一同十四日柳沢出羽守亭江 御成町奉

行等被仰付公事訴訟ノ決断ヲ聞召

午之刻御中へ未ノ上刻迄御簾下

一訴訟ニ 一公事拾三

山之論 一遺跡 密通公事ノ由

双方懷中致吟味何モ 手鏡ニ了出不

右之葺被相詰方

井伊掃部頭

酒井河内守

老中不殘

寺社奉行三人

御勘定奉行四人

山家六人

公事裁許

川口攝津守

松前伊豆守

同取扱又下役人

川口攝津守子力 安藤小左衛門

佐久間源右衛門

福垣源一右衛門

生田三右衛門

松前伊豆守典力 三好新次

吉田十良兵衛

深沢十太夫

勝田八右衛門

田中勤兵衛

坂東五郎兵衛

兩組ヨリ日心六人宛相務リ

右奉行方へ八時服二ツ、賜之

一同十五日例月ノ御礼相請

一参府之御礼献上之

御太刀

綿二百把 松平信濃守

白銀三百枚

色糸百斤

一家督之御札献上之

綿百把

水野松之元

黄金三十枚

右名代使者

中山外記

御臺所江献上

白銀三十枚

日入

三之御丸江

日新

同人

一將軍家江義作守遺物ト云テ献上之

御刀

備前長光代金五十枚

御臺

御臺所江

伊勢物語

冷泉為相筆

三之御丸江

日新

東常因筆

一津山ヨリ政府之御禮

綿百把

松子若狭守

金馬代

蠟燭五百挺

田村右京大夫

一御臺所江参府ニ付テ進上

白銀二十枚  
抄子信濃守

三之御元江

日新  
日人

一御役  
番被  
仰付輩

西之御元  
御留守居

上田 弥右衛門

御持筒  
再越左門

上田 弥右衛門代  
再越左門代

定火消  
三浦 監物

御目付  
瀧川 彦次郎

近藤 平八良

一日 逸見八左衛門

一日 多田 傳八郎

一日 長田 喜左衛門

一日 馬場 三良左衛門

一日 三上 羊兵衛

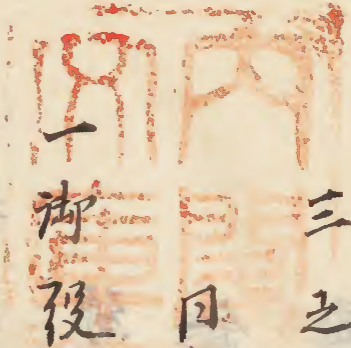
一日 御手洗 五良兵衛

一日 柳澤 出羽守亭八

一日 御成之御決込

一日 御目付前之一人宛  
御番ノ処

一日 御後四人宛  
御番被  
仰付





一御徒目付組頭酒番無之知向後一人宛  
 泊番被仰付  
 一御徒目付前之四人宛泊リノ処向後十  
 二人宛之泊番ニ相定リ  
 一御小入目付前之六人宛泊リノ處向後  
 十七人宛ニ相定リ  
 一月廿一日伊達遠江守壽産後不扶夜ニ  
 入リ死去ス  
 一月廿三日土方市正橋奎之次息女織田  
 監物子右京へ昏礼相調ノ

一福垣對馬守妹溝口信濃守へ昏礼来月  
 六月ニ相約ス  
 一月廿四日柳沢出羽守亭へ入リ御成也  
 一六月ニ相定リ  
 一火事ノ節川中御番御徒奥徒廣布へ相  
 詰可申即御供西ノ御丸山里御門へ相  
 詰へ申由被仰付  
 一月廿五日御役替被仰付  
 本多彈正少阿組頭月組ヨリ小宮山傳三郎  
 御手洗五良兵法跡

一 秋番武田與左衛門組頭

日組大河内五十郎

一 逸見五左衛門

一 大火之勢八御持筒順番二極一組頭

一 差添吹上御門入内二相詰御差圖二

一 相待可申旨被仰致

一 舟越左門居屋敷工引越

一 御用二付大奉多執負森對馬守兩入

一 屋布被召上

一 終

天享吾壽鑑卷之二百三十四

出元禄十一戊寅年

三月

一月十八日尾張殿江御成二付御供被

御付筆

井伊掃部頭

小笠原佐渡守

戸田山城守

阿部豊後守

折澤出羽守

坊子右京大夫

秋元但馬守

加藤越中守

本多伯耆守

安藤伊勢守

青山伊賀守

水野越前守

一御成之日御座敷飾物之次第

御成書院床

天御筆蓬束

御納戸構之内

日所遺棚

軸朗詠集

尊田親王筆跡

推朱盆

青磁千鳥香炉  
則紅香盆

四書大全

唐木  
文鎮銀奉

<sup>拜領</sup>見臺硯筥  
松ノ蔭繪料紙

一御休息之間床

三幅對

毫序

東方朔

松竹

大香炉

太鼓鷄

日所棚

易經 唐文鎮銀ノ松

四書 唐文鎮銀獅子

<sup>拜領</sup>銀香炉 香炉宮

繪鑑 新筆

<sup>拜領</sup>硯 硯臺

色奉書 文鎮銀ノ梅  
青礪切角ノ片板

一表御成之間

三幅對 壽老人 崔龜 秋月筆

五花 二瓶

日瓦遣桐

<sup>拜領</sup>硯 硯管 硯料 硯紙 硯管

香炉 白菊 堆朱長盆

堆朱香合 布袋 香 火箸

手宮堆朱盆 盆石 三笠山

堆朱印竈 竈席

一真御小坐敷床

三幅對 布袋雪舟筆 食竈

<sup>拜領</sup>銀花生 花臺

同瓦遣桐

歌書好忠集 文鎮銀竹 香道具

一表御小坐敷

三幅對 中直夫贊  
左右牧溪自画自贊  
香炉 鴛鴦  
紅花香合

中央卓 青貝

日瓦違棚

古今和歌集 後光嚴院震草  
文鎮 銀龜

香炉 了之  
茶師院長盆

硯管 下三  
料紙 水仙薛珍

則紅食籠

袋棚之内加羅名

將軍家ヨリ大納言殿へ被遣

黄金五十枚

小袖二十

日中納言殿へ被遣

御太刀一腰 長光  
代三百五十貫

百銀三千枚

御小袖百

繻弥百卷

繻弥百卷

日右兵衛督殿 被遣

御太刀一腰

百銀千枚

御小袖百

時服拾ツ

松子搥津守

同 出雲守

同 但馬守

同 求馬

一三之御丸ヨリ

羽二重五十疋

大納言殿江

一荷二種

一荷二種言殿 千代姫君江

小袖三十

一荷二種言殿 中納言殿江

小袖二十

一荷二種 右兵衛督殿江

一御臺取ヨリ

羽二重五十疋

大納言殿江

一荷二種

一荷二種言殿 千代姫君江

小袖三十

一荷二種 中納言殿江

小袖二十

一 荷二種  
一 鶴姫君ヨリ

右兵衛督殿江

羽二重三十足

一 荷二種

大納言殿江

紗綾三十卷

一 荷二種

千代姫君江

小袖二十

一 荷二種

中納言殿江

小袖十

一 荷二種

右兵衛督殿江

一五之御丸ヨリ

右日断

大納言殿江

右日断

千代姫君江

右日断

中納言殿江

右日断

右兵衛督殿江

一 將軍家ヨリ被遣

白銀五百枚綿百把一荷二種

千代姫君へ

綿百把

出雲守息女へ

一 尾張殿女中江被下

縮面拾巻宛

局

一千代姫君御方

銀二十枚縮面拾巻宛

五條

銀二枚縮面七巻宛

十又

大下ヨク

シテ

銀五枚縮面五巻宛

ヒラ尾

キヨウ

不サハ

ヨシ

カツ

玉ノ井

銀五枚縮面三巻宛

澤井

鳥羽



銀百枚

惣女中江

金三枚時服三

大久保金兵衛

金二枚時服二

太田林庵

日新

梶川庄兵衛

銀百枚時服拾

成瀬隼入正

銀五十枚時服三宛竹腰義濃守

石川大起守

寺西園書

成瀬右近

織田宮内

玉置市正

石川伊織

銀三枚時服三宛

津田九良右衛門

後藤弥次右衛門

成瀬羊太夫

下谷庄右衛門

宮木八良左衛門

渡邊新右衛門

服部小十郎

中村文藏

間宮沼左衛門

一尾張殿ヨリ献上之次

御太刀 家守代百五貫

綿五百把 尾張大納言殿

二荷三種 千代姫君

紗綾百卷

御太刀 国行 代金十五枚

黄金三百枚 一段子百卷

紗綾百卷 時服百

綿五百把 御馬一匹 鞍置

御内證 中納言殿ヨリ

御茶入 筒井肩衝

御茶入 筒井肩衝 御柵御看一種

中納言殿

銀三百枚 縮面百卷

御太刀 青江代百五十貫

御文臺 御硯篋

御看一種

右兵衛督殿ヨリ

綿百把金馬代御冠棚御看一種

出雲守ヨリ

綿百把金馬代御見臺御看一種

摂津守ヨリ

紬綾二十卷珍重金馬代御看一種

但馬守ヨリ

日拾卷金馬代銀釣花生御看一種

水馬ヨリ

金馬代時服六  
成瀬隼人正

銀馬代時服三  
石川大和守

日  
竹腰美濃守

日  
寺西圖書

日  
成瀬右近

日  
織田宮内

日  
玉置市正

日  
石川伊織

銀馬代時服三  
津田九郎右衛門

日  
後藤源次右衛門

日 成瀬半太夫

日 下若庄右馬門

日 宮本八郎左馬門

日 渡也新右馬門

日 服部小十良

日 中村文藏

日 間宮沼左馬門

將軍家ヨリ御内證二入被遣御道具

御腰物 先忠代金百二十枚

御脇差 吉光代金三百枚

右者中納言殿 江

御腰物 栗田國安代金二百枚

右者右兵衛督殿 江

御腰物 一之字代金百五十枚

右者大納言殿

御腰物 尻掛代金二十枚

右者攝津守八

御腰物 東國俊代金二十枚

右者出雲守八

御脇差 左安吉代金十六枚

右者祖馬守  
御服差 愚光代金十六枚

右者求馬

一尾忍刀ノ献上御道具

龜甲貞宗 代金二百枚

宗瑞正宗 代金百五十枚 中納言殿

御刀 粟田國継代三千貫 右兵衛督殿

御刀 國次代金百枚 大納言殿

四月

一同廿二日朝三田日澤寺前ニテ秋月長

門守舎身式部家来中ニ姓伊藤友右衛門

ト言者傍輩ヲ切殺シ其場ヨリ立退ク

一先頃似セ金仕候者御仕置被 仰付

通拾間店九兵衛店カサリ包 平兵衛

龜岡町万屋久兵衛店 政右衛門

八郎左衛門

吉川町平左衛門店 三右衛門

无太町勘右衛門店 弥次

右五人引廻シ磔

一小判師手代吹取ニテ金切盜候者死罪

獄門 弥右衛門

勤七

又七

清右衛門

與太夫

桶所良右衛門店井筒屋

半左衛門

吉川町平左衛門店

長四郎

右之者 兩人 盜金取次 死罪

打首

改右衛門

若之介

都合十四人 右之日類 醫師一人 御尋

不知未相見

一日廿三日 伊奈半十郎 手代 昨日三田喧

吃ノ場 死ニ至リ 吟味ヲト 死骸ヲ 秋

月長門守 屋敷へ 引渡ス

一廿五日 京都知積院大僧正ニ 被仰付

一日廿六日 中山備前守ヲ 被召 水戸殿 願

之通御拜借ノ義被仰付

一在国ノ諸大名ヨリ 八重姫君江ノ 献上

明朝差上

一黒田伊勢守 婚礼相済

一 同廿七日一柳土佐守組頭戸田三左衛門

二 際御番一戸登達中島田二戸中凡病

一 府殿府不

一 同廿八日月次之御禮相濟

一 隱居家督之御礼

一 銀千枚時服五十綿五百把

一 真御太刀 色子代金拾五枚

一 紀伊宰相殿

一 時服二十金馬代

一 御太刀 義弘

一 御掛物 虚堂黒跡 代金千枚

一 御茶入 師道坊者衛 代金千枚

一 紀伊大納言殿

一 右之御礼 行府登 城

一 水戸宰相殿

一 家督之御礼

一 松平主殿頭

一 金二十枚

一 金馬代綿百把

一 御太刀 備前正經代 隱居 松平大炊守

御臺巫江

詞苑和歌集

轉法翰資重筆

一 參勤之御札

時服十金馬代

鍋嶋撰津守

一 御暇二付了賜之

時服三羽折

相良志广守

一 金五枚時服三羽

中山半右衛門

金三枚時服三羽

永井喜右衛門

同 小濱民部

金二枚時服二羽 村平太夫

一 初月 御目見

半右衛門子

中山吉之丞

民部子 小濱孫三郎

喜右衛門子 永井平之丞

二 御暇信濃衆

小笠原頼貞

坐光寺助左衛門

一同廿九日 丹羽壹岐守家從関武太夫卜

一 云留守居役ノ者去心廿五日 傍輩ノ大

一 島新八卜云者意趣有之 戸新八方ヨリ

一 仕掛双方討果又



五月

一朔日月次之御礼相濟

一昏礼相濟御礼献上物

一同時服五小笠原隆理大夫

一同四黒田伊勢守

一参勤之御礼

銀馬代松子宗園

銀馬代時服三渡辺羊藏

一高宮五百端参上依戸献上

一天津惣代

一正僧正成之御礼

一京都二束一卷知積院

一入院之御礼寒松院跡

一護法院二束一卷

一笠根別當職之御礼

二束一卷金剛院

一尾張大納言殿松子但馬守日道二入束

五日登駕卜

一同日二日戸田對馬守病氣半身不叶

一同日三日水野松之丞病氣大切林牛奇瘡

一治三月六日...

一月四日鳥山半太夫常、不行跡二月分

朝於詩定所御追放被 仰付

一月五日松平對馬守嫡子將監依願阿波

守卜名ヲ改ム

一月六日水野松之元病死ス

一先年被 仰付 淀川新川ノ名寺治川下

一唱可申旨上方御代官一被 仰付

一杉子肥前守家来矢木忠左衛門家来 門

一兵衛昨五日戌ノ中刻主人忠左衛門

一差殺ニ立退リ其行齋未不相知ト云

一門兵衛窟増上寺臺所所大右衛門店弥

一市右衛門寄子ニテ門兵衛ハ羨濃國ノ

一者夕リト云

一月七日秋山十兵衛上リ屋布ヲ奥御坊

主持田宗守一被下

一月月十八日於京都三十三間堂千射之

一通矢五百七本矢尺戴寸七分

一麻布御花畑 神崎政右衛門弟子 政之元 十四歳

一御殿火之番被 仰付

毛利飛騨守

一五月廿二日寅之刻長崎後奥善町ヨリ  
 出火東風烈ク所屋廿余所塵舩三艘荷  
 物入置藏五ノ所細川越中守松平肥前  
 守大村目播守松浦壹政守藏屋敷類焼  
 一不近藤備中守役所屋布無別条  
 一黒田豊前守妻子産女子之由柳沢出羽  
 守孫十ノ豊前守妻八出羽守養女  
 一御徒目付組頭被仰付  
 中田甚左衛門  
 依田十郎兵衛

一月九日柳澤兵部少輔而後二本道具持

一七可申由被仰付

一島津左兵衛被為右嚴有院殿御少殿

一廻御普請御手傳被仰付

一去羊御的被仰付時分二條大坂駿府

五組ノ葦相残二付於蓮池内の被仰

存老中見分

松平近江守組

片桐主膳正組

稻葉駿河守組

三枝土佐守組

本多彈正少弼組

一御用二付三被為召輩

溝口源兵衛

御使番

中根宇右衛門

一同十一日松子中務又補不勝手土浦清

以來ノ士八拾五人暇出入

一青木民部豊死去又

一同十三月初一御目見

一日金馬代時服拾并伊兵刃

并伊掃部以

右於御座間被

御付

御臺所江

一縮面二十卷

三之御丸江

一右同新

一五枚三枚宛中入遣

一同十四日八重姫君御入輿之節役付相

定

御輿渡

阿部豊後守

御貝桶

土屋相摸守

御祝儀御使

戸田山城守

右之通今日被

仰之

一先月廿九日綾宮御婚礼ニ付 禁裏仙

洞江傳奏ノ公家衆迄奉書ヲ以飛脚ヲ

一祭

一駿府加番被 仰付

植村大學

花房右近

溝口宮内

一御役替被 仰付

火付改役御免 久貝忠左衛門

盜賊改御免 石野八兵衛

火付改役 土方市之元

盜賊改 松平左太夫

終

古



古綿百把

小笠原佐渡守

一二條殿御札

銀馬代押掛二拾本多肥後守

銀馬代蠟燭一箱赤川紀伊守

組頭兩組中

一御音請出來付了賜之

一御時服二十枚古松手沓路守

一御暇二付了賜之

時服三十一枚 佐竹修理大夫

一六日舟羽越前守

四月

宗 對馬守

一先頃三及吉田浦へ少少舟一艘着岸

一又取二袖先三男ノ首獄門ニ掛置ノ舟

之内改見候得ハ女一人桑居尤飯米等

有之ニ付御諒談虽有之不相通ニ依長

一崎ハ御送有之

一同日十六日小石川御殿御普請出來ニ付

一拜領物被仰付

金三枚時服三 中坊長兵衛

日 加藤兵衛

金二枚時服三 甲斐庄喜右衛門

銀十枚 鈴木修理

一 來 十八日 御能被遊 二 付 御家門方

一 被 仰付 其孫拜見被 仰出

一 上 杉 彈 正大 御 麻布屋敷 御殿見越 二 付

一 長 屋 三十間 奈 崩 土 手 築 立 木 植 候 様 二

一 被 仰付

一 福 島 久 六 病 死 二 付

一 同 十 七 日 八 重 姫 居 御 入 輿 之 荷 御 供 被 仰付 輩

同部丹波守

松平主計

水野長門守

仙石伯耆守

水野權十郎

藤五郎

福生七良右衛門

天野傳四郎

大久保権左衛門

逸見五兵衛



一水戸中納言殿ヨリ御城附ノ徒ヲ以テ  
御城坊主迄被申渡八重姫君御入奥  
相濟ニ付為祝義中納言殿へ心掛之衆  
有之共御隠居ノ事ニ候間祝義物ハ勿  
論書中等ニ用捨有之様ニ下ノ由云云  
一筋違橋御門番被仰付

加藤織部

右者植村大學代リ

一卯月廿四日夜有馬中務太補在丞久留  
米町屋ヨリ出火家数焼失之由云云

老ノ不殘

研沢出羽守

松平右京大夫

若年寄不殘

右衛門佐へ

高瀬

尾上

松波

表使三人

御局

銀ニ枚ツ、

銀三枚宛

銀五枚

太刀金馬代

日

月

一柳沢出羽守貝父弟多福寺原听和尚昨夜死去又

一駿府ヨリ参上之御礼去心十五日相濟

箱看

柘植平右衛門

一同十八日増山兵部少補祖父去心十一日

於在死死去又

一榎澤虫羽守忌御免去心登城

一位井伊兵次今度ノ祝儀下ニテ差上

三之御丸江縮面二拾卷

太刀金馬代紗綾拾卷

太刀金馬代

酒井雅樂頭

樽代干匹干鯛一箱昆布一箱

阿部豊後守

一今日御能就雨天相延

一月十九日二條御銃炮奉行被仰付御

一暇三以不テ賜之

金一枚時服二 鈴木新六

外ニ金三拾兩支度料トテテ被下

一松平路守家来ニ御褒美被下

銀三拾枚時服三折羽山田織部

日 長江隆殿

銀二十枚時服三折西尾執子

日 十枚時服二折下覺左清門

日 樋口庄内

一 小石川御殿御普請御用相務候ニ付被下

金五兩 森田次良兵法

日 大石定右清門

日 山田清左清門

銀五枚 梶田喜右衛門

銀二枚宛 御小人目付四人

一 水戸殿江五百八拾ノ餘被遣節ノ御使

被 御存 曲淵與左衛門

一 拾日光梶左兵衛願之通御役御免剃髮

又 左入卜号又蓮花岩卜云処ニ引越病

死又唯今ノ山屋布ハ而後御目付屋布

二 被 御存

一 同廿一日八重姫君御道具来朔日ヨリ

被 遣之

一 御次番三間善太夫八木平右清門御門

一 帳御除

一松子豊前守尾忍一為上使可被遣

一音被仰存

一同廿二日御暇

信濃衆 小笠原頼貞

座光寺勤左衛門

那須衆 太田原頼母

芦野左内

一月廿三日土方奎之及死

加土方奎之及忌掛親類

一織田右京妻

伯母 永井伊判守妻

日 脇坂甚兵衛妻

延茅 永井右衛門

永井伊賀守

阿部志广守

一同廿四日日本多隱攻守領分江列志賀院

一園山寺業師本尊東敵山一守川越候

樣二被仰渡松子下總守一七右日樣

一義被仰付

一來月八重姫居御入與相調三付永戶殿

一季君殿少將殿祝髮進上有之方以受  
 納可有之乍然在河ヨリ熊卜使者被差  
 越髮用捨可有之卜云云  
 一武田一學妻昨夜平産不米倉丹後守琅  
 一十月四日木下新田守忠房  
 一内藤丹後守依石登所城及御用之趣不  
 相知四谷屋布表通御用地被召上  
 一月廿五日八重姫君御入輿之御供被  
 仰付安藤筑後守  
 六卿主馬

奉多彈正丸阿

一松平讚政守舍弟松平頼母髮讚政守依  
 願被召出  
 一近藤彦九良朝比奈藤十良右兩組屋布  
 御用地二被召上替地被相渡  
 一月廿六日未月十三日御入輿二付同  
 一四日御祝義上山下云云  
 一上野奉尊御入仙之御用被仰付

松平肥前守

一曰廿七日 松平伊賀守參勤當月十三日  
本多隱岐守

一在源齋是之處道中 二 煩有江及古 郎

二 區留ノ申月番ノ老中迄届有之

一 江及之内 三 替地被 仰付輩

一 一万石 遠山主膳  
一万石四拾三石 福垣号藝守  
六千石 朽木和泉守

五千石

内藤図書

一 一万石 堀田兵部  
七千石 三枝土佐守

三千五百二十石余 渡辺主殿

五千石 伊及志摩守

四千石 高木伊勢守

五千四百石 奇藤飛彈守

六千石 松平織部

三千石 北条左京

七百石 堀田権右衛門

七千石

大久保伊豆守

千石

松平玄蕃

千五百石

根来半左卫门

千七百石

水野伊豆守

五千石

西御市正

一萬石

堀田豊前守

五千石

板倉内匠

三千六百石

横田甚右衛門

一昨廿六日於泖城泖能有之番存

泖高砂

田村阿部豊後守

江口 中根大隅守

泖自然居士

泖記

一久留島出雲守願之通泖役泖免

一上野中堂泖入佛二府出羽国山形願立

見寺ヨリ十二神将日月光月光都合十四

餘入佛為登候道中世話ノ義松子下總

守二被 御付

一上使阿部豊後守ヲ以テ在所暇ノ賜ノ

一松平淡路守

一月廿八日例月之御礼相濟  
一参勤之御礼献玉

内藤式部少輔

一在灰八暇又賜

一在...

一在...

一在...

一御役替被

一在石之御加増

山口孫二

御目付  
井上太左衛門

中島彦右衛門

赤井七良兵衛

鈴木兵九郎

六月

一月六日土屋采女於御前能被

首尾能相務ルニ有半切唐紙三束賜之

一同九日八重姫君江之被進物



御太刀 光忠 代金十五枚

御刀 青江 代金二十枚

御腰差 廣光 代金十五枚

御茶臺 若緑 三呈山

御伽羅 壹貫目

御帷子 五十

御單物 五十

色系 五拾斤

御肴 一種

御樽 一荷

御合力 金三千兩被進

一辻番改大崎甚夕昨晚病死又

一月十日和田倉御門番被

右者松子駿河守代 酒井下野守

一田安御門番 北条左京

一参勤之御礼献上物

時服四金馬代 織田越前守

銀百枚金馬代 松平隠政守

綿百把

綿百把

綿百把大宮五束  
安藤對馬守

綿百把金馬代  
淺野内匠頭

同断  
松子伊賀守

同断  
水野豊前守

蠟燭五箱金馬代  
溝口信濃守

時服五銀馬代  
西尾隱岐守

同断  
小笠原土佐守

和紙一箱銀馬代  
三宅備前守

程村紙二箱  
銀馬代太田原和泉守

時服三銀馬代  
小笠原備中守

和紙銀馬代  
細川玄蕃

同断  
菅沼藏部

小杉紙二箱  
銀馬代山崎主税

綿百把金馬代  
内藤能登守

一象督之御札

時服五  
九鬼万之丞

同断  
山口求馬

御臺所江  
九鬼万之丞

銀十枚

三之御丸江

銀五枚

山口求馬

御兩巫江日断

一為遺物献上

御刀 備前近景

九鬼大隅守

御刀 来国光代金拾枚

山口修理亮

一分知之御禮

金三枚

松平執負

一御加増御役美御礼

御太刀金馬代

山田孫次郎

一越後國長岡領去廿日廿四日迄洪水

田畑水損之覺

高一万二千百二石七斗二升八合

右古志郡

高二千五百四十五石九斗七合

右三島郡

高一万七千七百七拾七石九斗五升

右蒲原郡

高合三万二千四百二拾六石五斗八升

一合五合

一信濃川堤五ノ疔二ノ疔

千四百拾四間押付

流象人馬溺死等無之

一石川主殿頭領分遣領去月十九日ヨリ

廿日一ノ疔洪水ニ付

高六千七百六拾石余城込水湛候ニ

付水損

高七百五十石余河及大和川筋込水

故水損不

一高九百九拾石余堪及大川ヨリ込水

水損

高三千五百四拾石余江及湖水ノ増

田畑込水ノ損又

又一万千四拾石余

城中三之郭ニノ水入

士屋布花村里ノ水入又

大橋小橋別条無之

水增高之覺

一宇沼川一丈三尺二寸

京川一丈三尺二寸

一信木津川

一月十二日版倉甲斐守信濃領分去

日ヨリ廿二日ヨリ大雨洪水信及高

一郡之内八ヶ村

高千四百九拾石

一曰國祥郡之内产倉村高二百十石

产倉山村在家十二軒

用水四百八拾間堤切

一分部集人正領當春ヨリ高水ニテ去

十四日ヨリ廿一日ニテ晝夜ノ雨ニテ

屋敷郭ニテ水込當作七千石余損

一月十四日辻番改被仰付  
大島甚代 池田忠兵衛

一松予豊前守尾及ヨリ版府又

一同十五日例月之御礼相濟

一在死御暇賜之  
小笠原右近将監  
有馬左衛門

久世出雲守

太田摂津守

本多伊與守

牧野讚政守

三浦壹政守

柳原式部太補

水野隼人正

坂倉周防守

内藤周防守

松平丹波守

青山下野守

鳥居播磨守

松平對馬守

丹羽壹政守

新庄至殿

諏訪步藝守

本多長門守

玉井甲斐守

龜井隱政守

植村右衛門佐

井伊兵部少補

最上刑部

松平主水

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一阿部伊與守息六之丞昨夜病死  
一自十六日御本丸表向火之番

松平隠岐守

三之御丸火ノ番西尾隠岐守

山里火之番水野豊前守

松平伊賀守

一八重姫君今朝五過御本丸江被為入候

二依戸水戸殿父子三時登城下云

一今日八重姫君大奥江被為入水戸殿父

子御祝儀相濟二付御家内ノ人々御

一目見登城

一公方家江献上

真御太刀 備前正恒代金七枚

黄金二拾枚

綿百把

時服拾 水戸少将殿

真御太刀 宗次代金五枚

御膝差 政宗代金二百枚

御刀 備前國宗代金百五十枚

銀二百枚 水戸宰相殿

時服拾

金馬代拾兩

御太刀

三種二荷

右者使白井忠左衛門ヲ以テ献ス

一公方家ヲ上使小笠原佐渡守ヲ以テ

一外櫻田御門番秋田信濃守

右者井伊兵部又補跡

一神田橋御門番溝口信濃守

一吹上御門番久永内記

右者松平主水代

一一橋御門番小笠原土佐守

右者丹羽壹政守代

一馬場先御門番小笠原備中守

細川玄蕃

右者埴村右衛門佐真居播磨守代リ

一上野東漸院任職御本坊ニ於テ被仰付



一八重姫居御入典ニ付テ京都へ歸上使  
被仰付

代リ 京極對馬守

一月廿五日於御城御能有之御番組

式三番 弥太郎

一 風流西王母 八右衛門

関口 源七

一 交不孫乃色婦之目...  
一 代志...  
一 交不孫乃色婦之目...  
一 代志...

一同廿六日丹羽左京大夫腫物ニテ病死

一同廿八日例月之御礼相濟

一 御暇賜之

松平隠岐守

真田伊豆守

牧野駿河守

一 大坂加普御暇賜之

万部阜入正

永井執負

内藤式部

一大改在番御暇賜之

池田帶刀

阿部志广字

一 御禮 兩組頭兩組中

一 參勤之御禮

坂田伊豆守

立花英山

二 柳 御目見

一 時服五

式部息

内藤七三守

一 銀馬代

一 參勤之御礼

土井式部少輔

一 家督之御禮献之

時服五

森 和泉守

黄金拾枚

一 隱居之御礼

御刀 相刃之光代金二十枚

森 内記

御臺函江

伊勢物語

正親町院宸筆

三之御丸江

古今集 抄小路濟徒筆

一 後住之御札

一 東一本

東漸院

一二 條少時殿 江松平加賀守 息女縁組被

一 仰出

一 小石川御殿番被

仰付

黃金計外

加賀 不 弥太夫

一 深川築地奉行

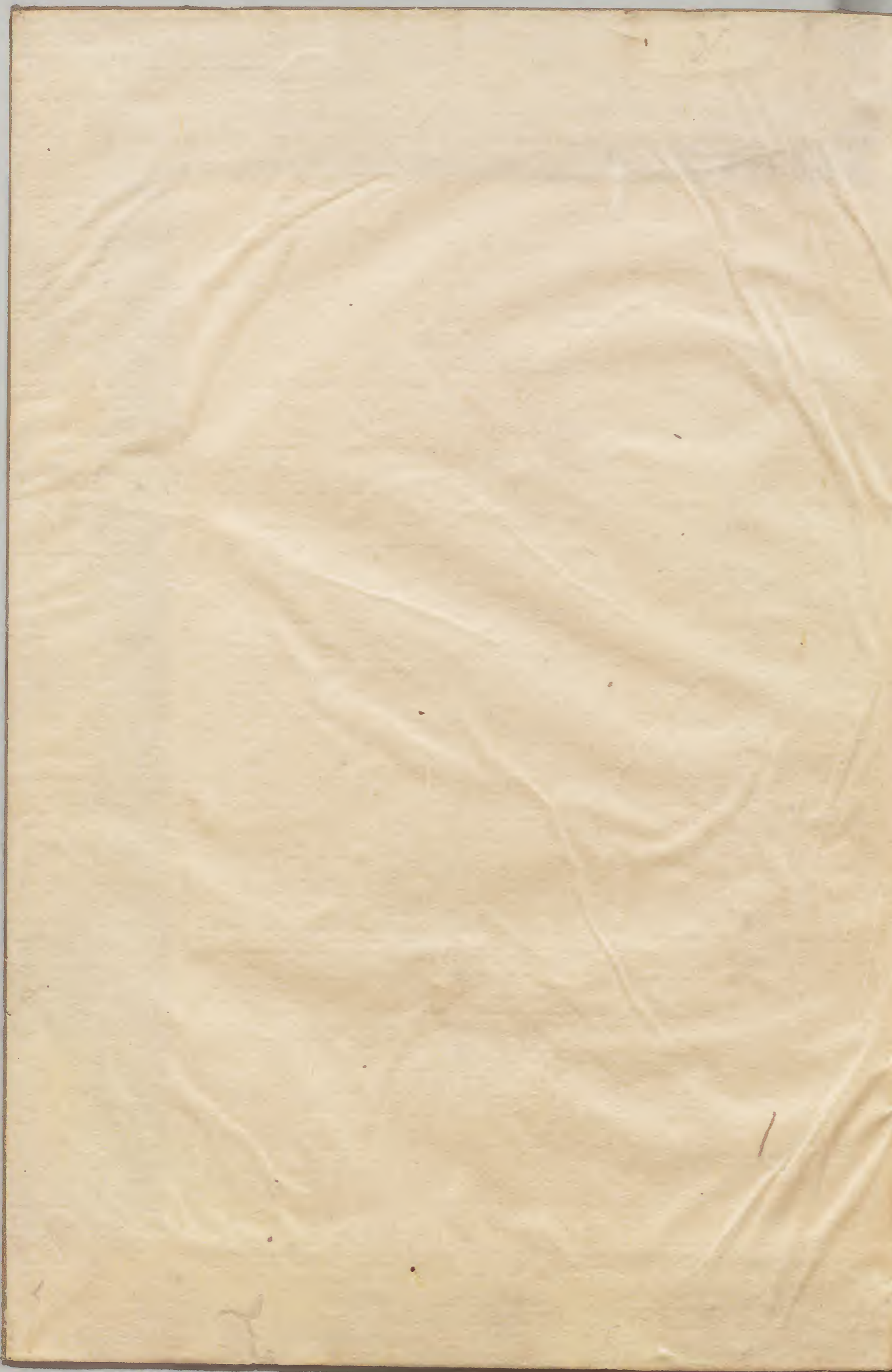
榊原次郎右衛門

一 深津八亭左衛門

深津八亭左衛門

一 松平彈正忠屋敷御用地 二 被古上右ノ

替地於本所坪ニテ被 仰付



一 後法之書也  
一 宋一介  
一 史明記  
一 卷一  
一 卷二  
一 卷三  
一 卷四  
一 卷五  
一 卷六  
一 卷七  
一 卷八  
一 卷九  
一 卷十



